



年末の静かな山行

中央アルプス 権現山～木曾駒ヶ岳(敗退)

浅井 他

【日時】 2009年12月29(火)～31日(木)

【メンバー】 L浅井、煤孫、金沢

年末年始に長大な計画が多数出されていたが、私たちは新人の金沢君を交えて、2泊3日で静かな冬山歩きを楽しむ計画を立てた。ラッセルがきつかったので木曾駒ヶ岳の山頂は踏めなかったが、静かで展望の良い冬山歩きを楽しめた。

12月29日(火) 快晴(浅井記)

前夜金沢君の車で東京を出発し、伊那スキーリゾートの駐車場で仮眠。車を無料駐車場に置いて8:00、出発。スキー場の脇の林道を登って行くと、8:50、権現山の登山道入口に着く。ここからまず権現山を目指す。雪はうっすらと積もっている程度で、トレースがあった。道が所々凍っていたのでアイゼンをつける。この権現山から西駒山荘に至る尾根ルートは地形図には記されていないが、最新のエアリアマップには記されている。木曾駒ヶ岳への登路としては古いルートの一つらしいが、ロープウェイの影響で廃れていたのを、最近整備されて復活したようだ。

★権現山から望む甲斐駒ヶ岳



標識のある土俵跡を経て、11:30、権現山(1749m)の山頂に着く。山頂には祠があり、地元の小学生が集団で登った記念の札が立っていた。地元では親しまれている山のような。山頂からは展望もよく、南アや八ヶ岳がよく望まれた。

今日はこの先もう少し進んで、辻山のあたりまで行く予定である。ここから先はトレースがなく、やや雪が深くなってきたのでワカンを履く。樹林の尾根を西に進むが、所々赤布もあり迷う心配はない。きついラッセルもなく順調に進み、2ピッチで14:20、板沢の頭に着いた。ここは北側にも尾根が延びているので、下山の時に迷い込まないよう確認しておく。ここからは向きを南寄りに変えて、辻山を目指す。

標高が2000m近くになってきたので、雪が多くなり、ラッセルも深くなってきた。辻山付近は緩やかな尾根が広がっているので、展望がない時は迷いやすいかもしれない。下山時のために迷いやすそうな所には赤布をつけておいた。辻山の手前に「五合目見晴台」と記された標識が立っている所があり、なるほどそこは展望が開けていた。



さらに進んで15:20、辻山(2096m)の山頂付近に着いたが、ここは標識は見当たらなかった。計画ではもう少し先まで進むことも考えていたが、ここは展望もよく夜景も楽しめそうなので、今日はここに泊まることにした。明日はここをベースにして木曾駒を目指すつもりだ。明日のために少し先まで空身で往復してトレースをつけておいた。その夜は、伊那谷の夜景も楽しみながら、我々だけの静かな時間を満喫した。

12月30日(水) 曇りのち雪 (煤孫記)

この日の朝は薄曇り。幕場からは朝焼けの南アルプスが見えた。

テントを置いて、空身で木曾駒ヶ岳まで往復する計画だった。わかんを履いて出発する。最初から膝までのラッセル。

私は前週の山行でわかんが壊れたので、新しくわかんを新調した。Lサイズを購入したが、比べてみたらみんなと同じ大きさだった。前週は体重の重い私が小さいわかんを使っていたから一人だけ沈んだようだ。ならば今回は大丈夫だろう、と思ったがやっぱり私だけ沈んだ。わかんの大きさよりも体重が効くのだろうか。

しばらく緩やかな登りが続く。時折強い風が吹いたが、樹林帯だったので直接受けなかった。30分を目安にラッセルを交代する。高度が上がるにしたがって、雪も深くなってきた。

★懸命にラッセルする金沢君

権現づるねの急坂では、腰までのラッセルとなった。こうなるとなかなか進まない。駒ヶ岳までは行けないだろう。12時半までに行ける所まで行くことにした。



急坂を登りきると、またなだらかな登りになった。夏道があるので所々に赤テープがあった。夏道を外すと深く沈むので、赤テープを頼りに進んだ。

天候がだんだん悪くなってきた。空は完全に曇ってしまい、風が強くなってきた。無理して山頂まで行っても意味がなくなってきた。

将棋ノ頭の手前で時間切れとなった。樹林帯を少し抜けた所で強い風を受けた。記念写真だけ撮って、すぐ樹林帯まで戻って休憩した。

帰りは自分たちが踏み固めたトレースをたどったので、2ピッチで戻れた。幕場に明るいうちに着いたので、明日の下山路を確認に行った。15分ほど下ってみたが、昨日の自分たちのトレースははっきり分かったので安心してテントに戻った。

12月31日(木) 雪 (金沢記)

この日はとうとう最終日。テントを片付けて帰るだけなのでゆっくりの起床となった。朝食は私金沢の食当となっている。個人的に大好物のチキンラーメンを自慢げにリックから取り出し、作ろうとしたらリーダー浅井さんから「素?素?素なの!!」

という質問。そう、具もおかずもない何も入っていない素ラーメン。確かに初日と前日の朝夕食のメニューはどれもおかずや野菜など一工夫されたものばかりでそれに比べたら私の朝食は・・・。「たまにはシンプルで

★2泊した辻山の幕場

こういうのも良いね」などというフォローもいただきつつ今回はがまんしてもらいチキンラーメン(素)を食べていただくこととなった。日ごろから家での自炊の必要性を痛感させられた。

2日間お世話になったこのテント場ともお別れとなり短いながらの我々のMYホームの撤収作業に入る。住めば都で徒歩10秒で町を見渡す眺め、トイレが2つに踏み固めて水平になった寝ごこち抜群のなかなかの住環境であった。



7:00にテント場を出発。道中、地面に積もった雲の上を想像させるような新雪の上をすべるように歩いた。途中トレースをはずしてしまい、道を探す状況になってしまった。下りでの油断から発生したミスとして大きな反省点となった。10時には登山口に戻ることができた。登山口で少しの休憩をとりながら、正月の大きな楽しみが終わってしまうという名残惜しさと、2泊3日の雪山登山という経験の無い山行を無事に終えたという達成感を思いながら、充実した山行を終えることができた。

【行程】

12/29 伊那スキーリゾート駐車場(8:00発)～登山口(8:40)～土俵跡(9:40)～権現山(11:30)～板沢の頭(14:20)～五合目見晴台(15:10)～辻山(15:20)

12/30 辻山(6:30発)～長尾根ノ頭(11:40)～将棋の頭の手前(11:30/45)～辻山(14:50)

12/31 辻山(7:00発)～権現山(8:30/45)～登山口(9:50/10:00)～伊那スキーリゾート駐車場(10:30)

【地図】伊那宮田、木曾駒ヶ岳

★二日目 最高到達点にて



★最終日 帰路の権現山山頂

